

日刊 勤労千葉

83. 5. 26

No. 1348

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）四七二二（七）七二〇七

三里塚ジェット闘争勝利!

敵の攻撃をみすえよう

5/20 新小岩支部取場集会

支部通信員・発

~~~~~

### 中江勝利は組合員一丸となつて闘った成果

新小岩支部は五月二十日、十二時より乗務員室において、組織内候補として先の統一地方選の船橋市議選で高位当選された中江昌夫氏と、本部関川委員長を迎えて職場集会を開催した。

~~~~~

大衆運動と結合した議員活動を

中江氏が あいさつ

最初に関川委員長から「反合理化、中曾根批判をかかへて闘った結果が四位当選できた理由でもある。選挙期間中の支部組合員のご奮闘にお礼申しあげたい。また、政府の国鉄つぶし、国鉄当局の組合つぶしの攻撃のなかで、これに対抗できる組合にしていかねばならない」とのあいさつを受けた。

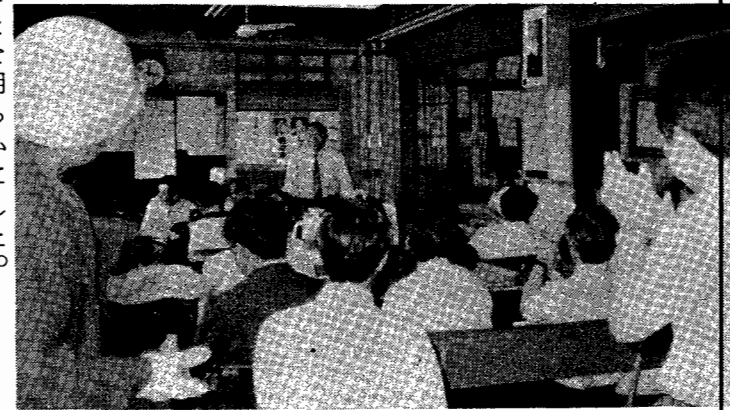
続いて中江昌夫氏より、「六カ月におよぶ皆様のお心両面の御支援をうけて、当選できた事に対し厚くお礼申し上げたい。『反核・護憲・平和都市宣言の街』をスローガンに、市民の会とともに闘った結果である。私は単なる市議会議員でなく、皆さまの支えによる大衆運動と結合した議員活動をした。今後も勤労千葉とともに闘っていく」との力強い決意が表明された。

松崎支部長が当面の方針を提起

最後に松崎支部長より、これまでの闘いの総括及び今後の闘いの方針の説明を受けた。

松崎支部長は、この集会が中江氏の選挙闘争勝利の集会でもあり、昨年の大会決定以来組合員が一丸となり、他の組合や市民の会の御支援をうけて中曾根内閣の反動政治に対決して闘った成果であることを明らかにした。そのうえで、春闘については合理化を前提とした低額回答があつたが仲裁に移行していること、内達一号改悪については「内達一号対策委員会」で検討していくこと、「運転適性検査」問題については大筋で合意したが問題もあることなどが出された。

そして労働運動解体攻撃が激化している情勢を全組合員がしっかりとらえ、ワッペンには必ず着用すること、「59・2ダイ改」については新小岩支部は影響が大きいので断固とした闘いを展開していくこと、家族組合を早期に結成したい等の方針や説明を受け集会は成功裏に終了した。



中江氏のあいさつと決意に、全員の暖い拍手が応えた。

臨調・行革粉碎!

「6.12公判」反動判決を弾劾する

「本部」革マルを二掃し、完全無罪獲得のため断固闘う 篠塚康則

反動千葉地裁・山中裁判長は、去る5月20日、「6・12デッチ上げ事件」判決公判において、わが勤労千葉の組合員片岡・吉岡・篠塚三君に対し断じて許せぬ政治的な「有罪」判決（罰金五万・五万・四万）をかけた。自らの路線と組織のゆきづまりの中で、唯一「勤労千葉破壊」にのみ活路を求めて警察労働運動に完全に染まり切った勤労「本部」革マル反動分子を粉碎・一掃し、三君を守り、完全無罪獲得まで闘いぬこう。前号に続き、公判直後の弾劾・報告集会で表明された三君の決意を紹介します。

組合員の皆さん、どうもごくりさまで。一年十一カ月の公判中、永い間皆さんのお世話になつていたのですけれども、今、この全く不当な判決をきいて、怒りにみちて、もう言葉にならないほどです。これまでの公判を通してただの一度も何の実証もできなかつたのに「とにかく有罪」という判決で、絶対に許せない気持ちです。この「6・12」が最初から完全なデッチあげであり、「本部」革マル反動分子と警察・検察・裁判所が一体となって攻撃してきた政治的弾圧であるという点を再度認

識して、明日から更に強固に闘って闘って闘いぬいでいくんだという事を確認したいと思ひます。特に、あの嶋田の如きやつは、千葉の職場に残しておいては絶対だめだということを本当に実感します。「本部」反動分子らの最大の狙いである勤労千葉の組織破壊を絶対に粉碎していかなければならない。日本の労働運動が勝利していくためにも、勤労「本部」みたいなやつらが存在してはだめだということをしっかりと認識して、彼らを全国で一掃して勤労大改革をなしとげていかなければならないと思ひます。私もその先頭に立って、完全無罪獲得まで共に闘いぬいでいく決意です。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!